

地図を手にスタートする選手  
=中津川市上野

# 地図を手に山林駆ける

## 中津川で全日本リレーオリエンテーリング

### 3人一組で競う

地図とコンパスを頼りにチェックポイントを回り、ゴールするまでを競う「第23回全日本リレーオリエンテーリング大会(日本オリエンテーリング協会主催、県オリエンテーリング協会共催)」が7日、中津川市上野の湖周辺で開かれた。3人一組のリレー形式で、選手権と一般の

クラスによって1人2・4・6キロのコースで、山林に設けられた10〜15カ所のチェックポイントを巡った。選手たちは、地図を正確に読み取って各ポイントを探し、雪の積もった道路や山林を駆け回ってゴールを目指していた。

(有我友香理)



JOA会長もスペシャルチームで  
スウェーデン留学生と副知事と一緒に参加

全日本リレーオリエンテーリング大会が7日、中津川市上野の樫の湖オートキャンプ場を発着点に開かれた。地図とコンパスを使って山野に設置されたポイントを巡り、タイムを競う大会。県内を含む二十五都道府県の中学生から七十代の百九十七チーム五百九十一人が、選手権と一般の計十四クラスに分かれて参加した。

発着点は標高六百五十メートル。雪が降り積もる中、参加者はスタートし、白い息を吐きながら一人二・四・六キロを駆け巡った。大会は日本オリエンテーリング協会が主に団体の開催都道府県で毎年開き、二十三回目になる。樫の湖畔は二〇一〇年の第二回アジア選手権大会をはじめ、全日本学生選手権大会などでも使用されている。(平野誠也)

リレーオリエンテーリング  
25都道府県から59人参加 中津川



雪が降り積もる中、スタートする参加者たち  
=中津川市上野の樫の湖オートキャンプ場

中日1/8